## 【本日の説教要旨】 「苦しむ者、貧しい者に」

申命記 15:1-11 マルコ 14:3-9

「わたしは、憎しみ、暴虐、そして正義を求める叫び声(の原因)を取り除いた。私は国王として正義を確立した。」メソポタミヤのウルナンム王が紀元前 2090 年ごろ作らせた、世界で最も古い法典の一部です(粘土板破片)。法典では王の主要な務めは国家の防衛と国民のための豊穣と「正義」の維持がありました。ここでの「正義」は社会正義のことです。孤児や寡婦に代表される社会の中で弱い立場にある人たちを、強い人たちの搾取や抑圧から守り、その正義が強い人たちに踏みにじられたとき、それを回復することが王の務めでした。

「あなたは、7年の終わりごとに**負債を免除**しなければならない」(申命記 15:1)。 負債は人生にのしかかる重石です。錘=おもりのついた綱です。この綱が人にから みつくと、綱は人を底なし沼に引きずりこみ人を壊し、社会を窒息させ、国を滅ぼ します。負債は個人的にも社会的にも深刻な問題です。

イスラエルでは「7」という数字は特別の意味を持っていました。一週間は7日、そのうち6日間は労働日、7日目は労働から解放される安息日でした。この日は「神=ヤハウェ」のものでした。それは年にも適用されました。6年は畑に種を蒔いてその産物を収穫し、7年目は休耕年=安息年でした。この年の秋、仮庵祭に負債が免除されました。実際には困難で7の7倍、49年の翌年=50年のヨベルの年まで延ばされた用です(レビ記 25:8-12)。

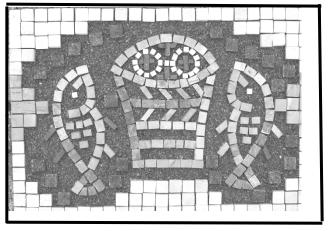
イスラエルで負債の免除は社会的要請でも経済的理由でもなく、神=ヤハウェの命でした。なぜなら「この地から貧しい者がいなくなることはないので、私はあなたに命じる。この地に住むあなたの同胞、苦しむ者、貧しい者にあなたの手を大きく広げなさい」(申命記 15:8)と。人々がみな神の言葉に従えば「貧しい者は一人もいなくなる」ことが期待されたのでしょう(申命記 15:4)。しかし、それはかなわぬこと、「この地から貧しい者がいなくなることはない」と、現実を見据えています。聖書は理想や空想の世界を語ることはありません。常に人間の現実を見つめ、率直に神の言葉を語ります。

「ナルドの香油」の出来事はユダヤ社会の目が、苦しむ者、貧しい者に閉ざされていたことを暗に伝えています。負債は神の言葉への不服従です。最終的な負債の免除はイエスによる免除=葬りです。近代国家においても苦しむ者、貧しい者への責務は、個人や篤志家、慈善団体ではなく、国の在りよう、政治の課題です。教会は国の政治について、神ヤハウェから重い責任をゆだねられています。

# 日本キリスト教団浦河教会

# 週 報

№.26 2022年9月25日



教会創立 1956 年

 $\mp 057 - 0022$ 

北海道浦河郡浦河町昌平町東通 32 電話(FAX)0146-22-2904

牧師 **五 味** 一

電話 (FAX) 0146-26-3043

#### 2022年9月25日 (No26)

じつ れい 日礼

しかい そうがく 司会: 山本潔 奏楽:

前奏 そうがくしゃ奏楽者 いち どう 一 同 讃美歌 85(二回) 祈 IJ 申命記15章 1~11節

(旧約聖書304頁)

マルコ福音書14章3~9節

(新約聖書90頁) しかいしゃ 司会者 いち どう **一** 同

ご み

五味

はじめぼく

一牧

さんびか 讃美歌 157

「苦しむ者、貧しい者に」 五味

さんびか 讃美歌 424

どう **同** . どう 就金と感謝の祈り いち 主の祈り ぎう同 62 どう 同 キリストの平和が(1・5)

\*\*・ 新しく来られた方・久しぶりの方の紹介

# 【本日の集会】

◇主日礼拝 午後2時 ◇お茶の会 ればいご礼拝後

# 【今週の集会】

◇一緒に聖書を読み祈る会 れいはいどう • 9月28日 (水) アモス書

(旧約聖書頁)

## 【次週の予定】

◇10月 2日(日) 午後2 時 れいはいどう 礼拝堂

はかいしゃ

はじめぼく 一牧 師 五味

・讃美歌

# 【来週の礼拝司会者を決めましょう】

① 和田智子 ②広瀬秀幸 ③吉田公子 ④伊藤知之 ⑤ 山根耕平 6岸澤恵美 7高崎晋 8山本潔 9早 坂潔 ①荻野仁

## 【集会統計】

集会名	参加者	献金
主日礼拝 (9月18日)	名	10.892円
祈祷会 (9 月 21 日)	名	

#### 頌栄 キリストの平和が

- 1. キリストのへいわが わたしたちのこころの すみずみにまで ゆきわたりますように
- 5. キリストのゆるしが わたしたちのこころの すみずみにまで わたりますように ゆき